

## 4 輸送障害に関する事項

### 4.1 輸送障害の発生状況

#### (1) 輸送障害件数の推移等

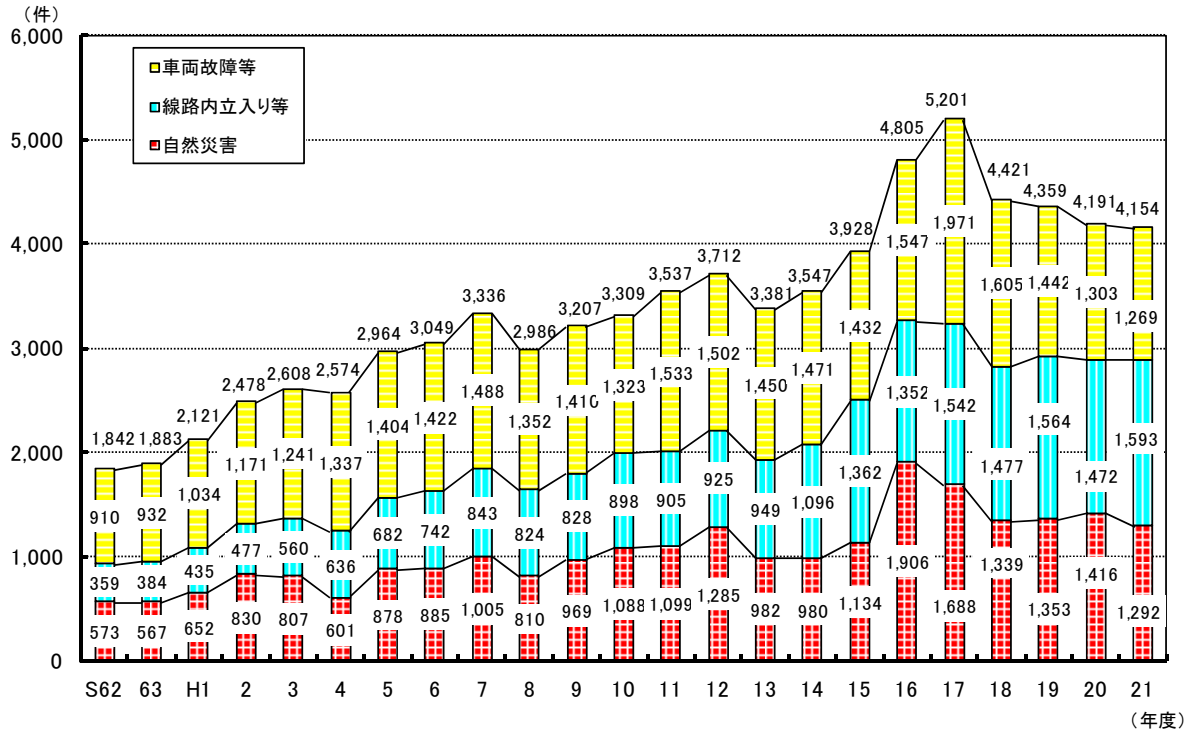
- 平成 21 年度に発生した輸送障害(列車の運休、旅客列車の 30 分以上の遅延等)<sup>17</sup>は 4,154 件、対前年度 37 件(0.9%)減であり、4 年連続して減少しました。
- 車両故障等による輸送障害は 1,269 件(30.5%)となっており、平成 18 年度から 4 年連続して減少しました。
- 風水害、雷害や地震などの自然災害による輸送障害は 1,292 件(31.1%)となっています。
  - 線路内立入り等による輸送障害は 1,593 件(38.3%)となっており、安定した輸送サービスの確保のためには利用者や沿線住民等の協力も必要です。
- 線路内立入り等による輸送障害のうち、自殺によるものは 682 件で、対前年度 35 件(5.4%)増でした。
- なお、運転事故に伴う列車の運休、旅客列車の 30 分以上の遅延等は輸送障害として計上していませんが、インシデントに伴うものは輸送障害として計上しています。

---

<sup>17</sup> 鉄道事業法第 19 条等に基づき鉄軌道事業者が国土交通省に届け出ます。

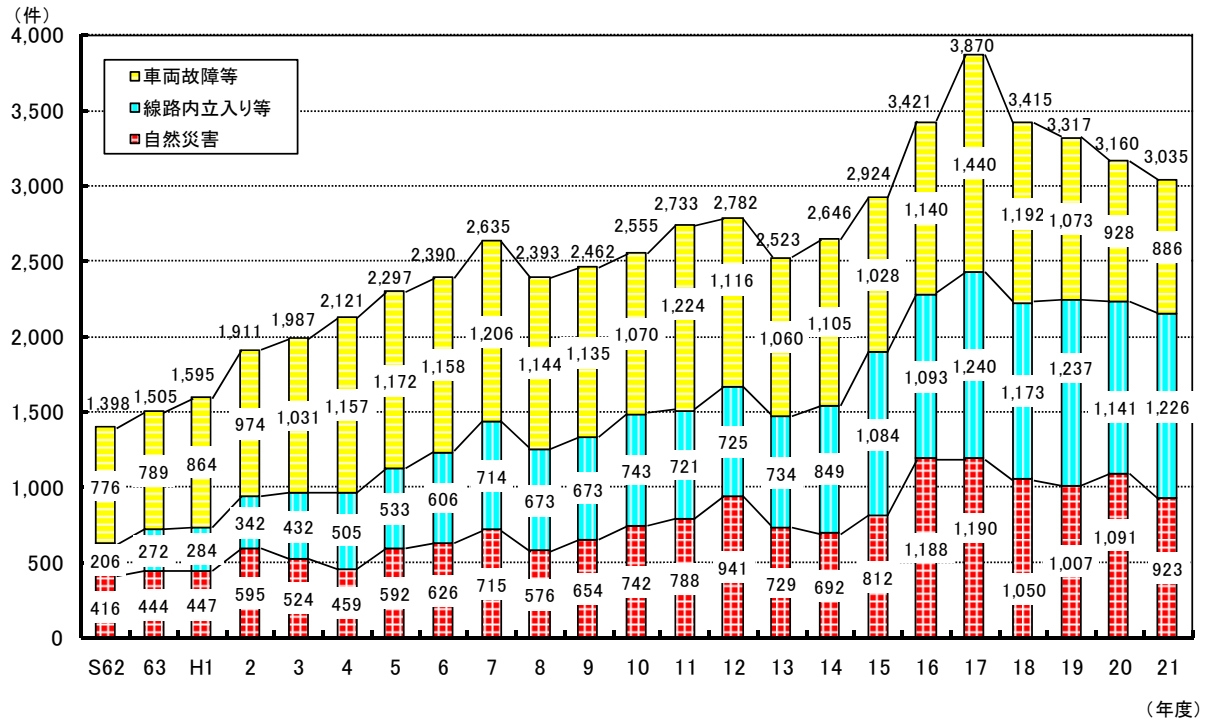
図15: 輸送障害件数の推移

① JR(在来線+新幹線)と民鉄(鉄道+軌道)の合計

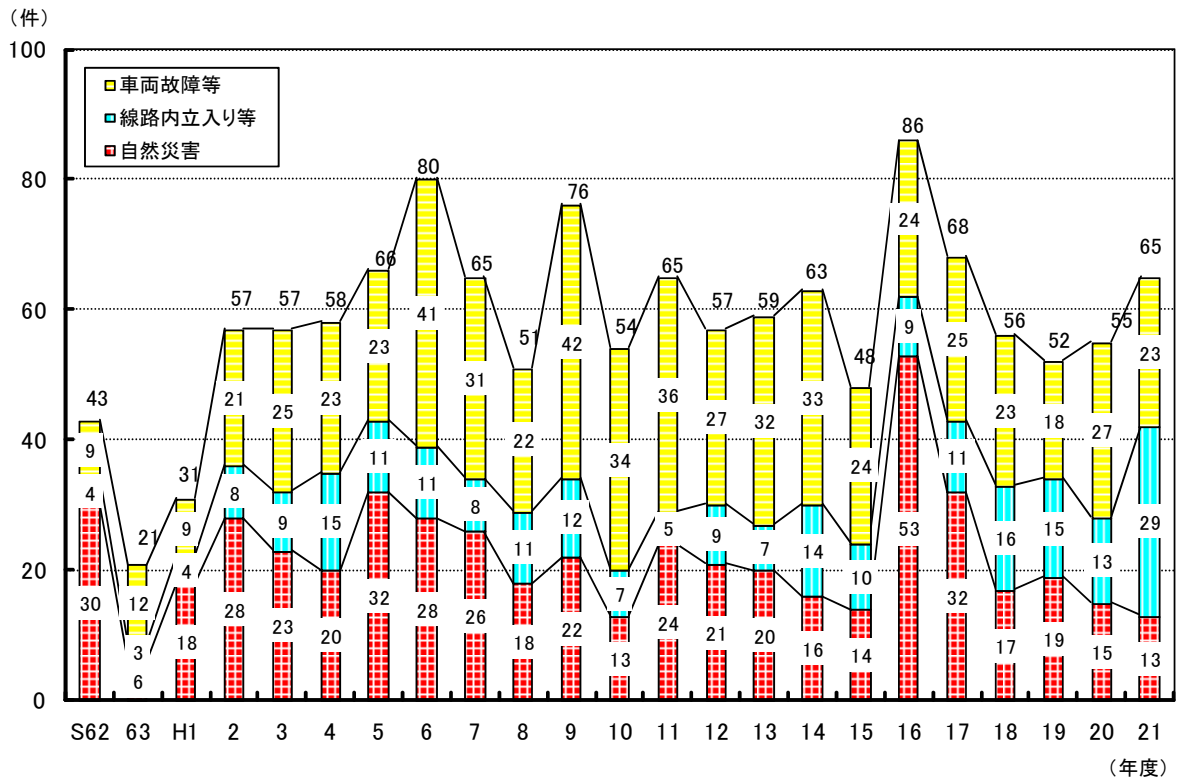


車両故障等: 鉄道係員、車両又は鉄道施設に原因するもの  
 線路内立入り等: 線路内立入り、動物との衝突等に原因するもの(車両故障等及び自然災害以外のもの)  
 自然災害: 水風雪雷害、地震災害等の自然災害に原因するもの

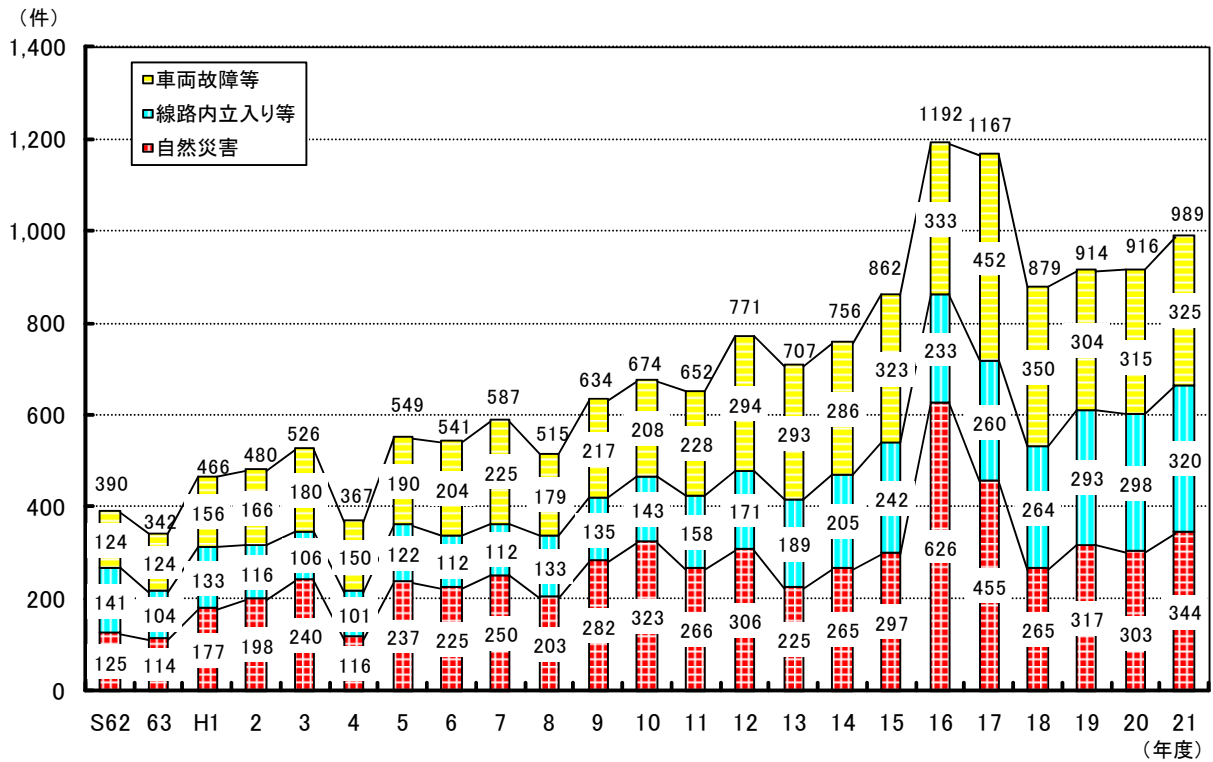
② JR(在来線)



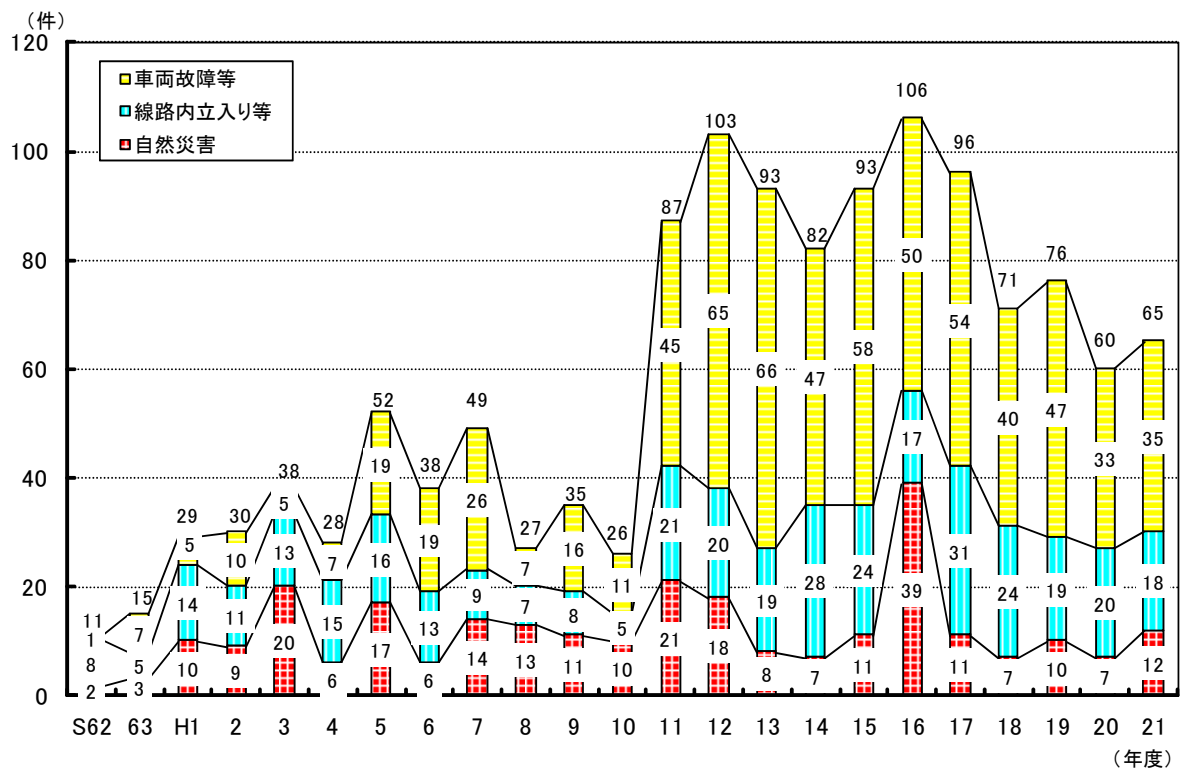
③ JR(新幹線)



④ 民鉄(鉄道)



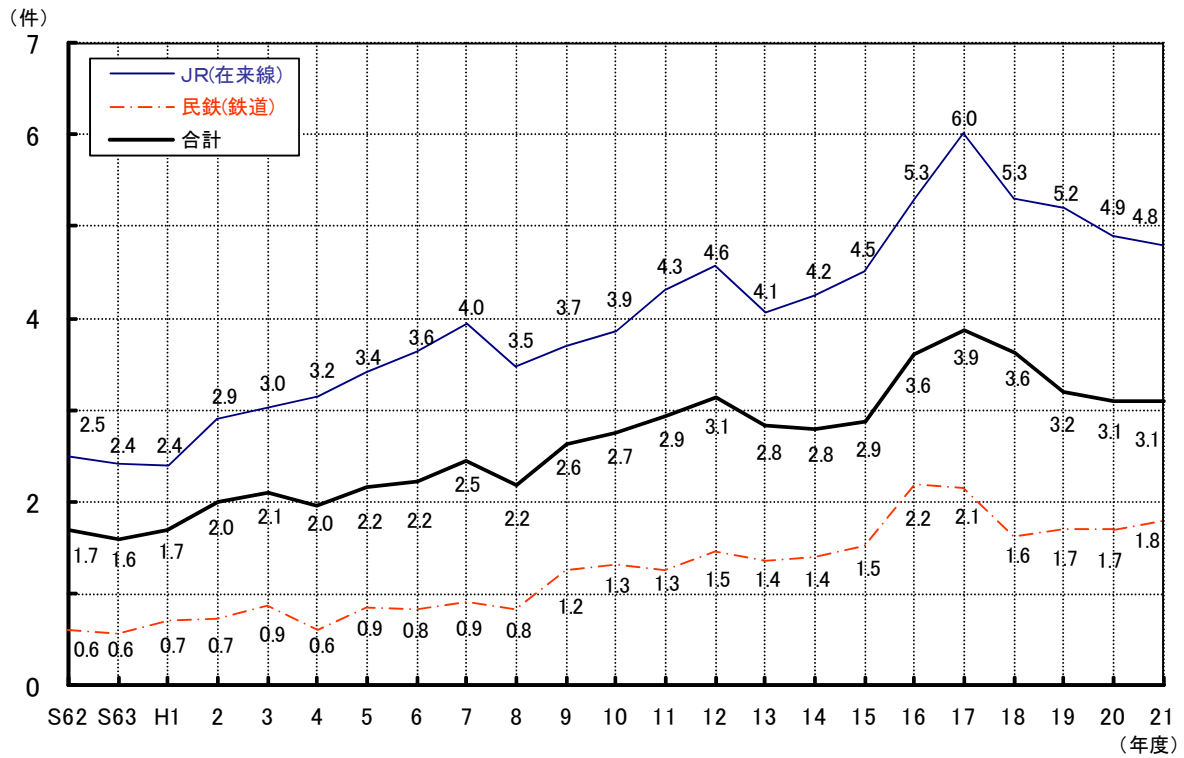
⑤ 民鉄(軌道)



(2) 列車走行百万キロ当たりの輸送障害件数の推移

○列車走行百万キロ当たりの輸送障害件数は、輸送障害件数と同様に、平成 18 年度から 4 年連続して減少しました。

図16:列車走行百万キロ当たりの輸送障害件数



※ グラフ中の「合計」は、JR(在来線+新幹線)と民鉄(鉄道+軌道)の合計である。

## 4.2 事業者区分別の輸送障害件数

○平成21年度における事業者区分別の輸送障害件数は、次表のとおりです。

表4:事業者区分別の輸送障害件数(平成21年度)

原因 事業者区分	車両故障等					妨害等	自然 災害	合計	走行百 万キロ 当たり	列車走行キロ (百万キロ)
	鉄道 係員	車両	鉄道 施設	小計	走行百 万キロ 当たり					
JR(在来線)	133	509	244	886	1.4	1,226	923	3,035	4.8	631.3
JR(新幹線)	8	13	2	23	0.2	29	13	65	0.5	141.9
民鉄等	30	182	123	335	0.6	323	350	1,008	1.8	549.8
大手民鉄	8	30	20	58	0.2	215	48	321	1.0	318.2
公営地下鉄等	10	12	6	28	0.3	42	6	76	0.7	105.2
新交通・モノレール	0	14	7	21	1.0	5	10	36	1.7	20.7
中小民鉄	12	126	90	228	2.2	61	286	575	5.4	105.6
路面電車	1	15	9	25	1.0	15	6	46	1.9	24.3
合計	172	719	378	1,269	0.9	1,593	1,292	4,154	3.1	1,347.4

※1 「大手民鉄」は、東京地下鉄(株)を除く15社です。

※2 「公営地下鉄等」は、東京地下鉄(株)を含みます。

※3 「中小鉄道」は、準大手鉄道事業者を含みます。